

NPO法人 介護・福祉サービス非営利団体 ネットワークみやぎ



●2016 年度総会第 5 回理事会報告

2016 年 5 月 17 日（水）14 時から、フォレスト仙台 5 階 501 会議室において、第 5 回理事会を理事 10 人（書面議決 1 人）と監事 2 人の出席で開催しました。議決事項として 1. 2017 年度総会議案の確定、2. 定款の一部変更について、3. 規程・細則の一部改定について、4. 個人情報保護方針の決定について、5. 2017 年度主要日程（2 次案）について提案し、全員異議なく議決しました。報告事項は、1. 2016 年度監事会開催（案）、2. みやぎ生協との業務委託について、3. 「情報の公表」調査事業報告、4. 地域密着型サービス外部評価事業報告、5. 福祉サービス第三者評価事業報告、6. 宮城県介護人材を育む取組宣言運営業務報告、7. その他、他団体との連携した活動報告について確認しました。

2017 年度総会のお知らせ

日 時：2017 年 6 月 9 日（金）13：30～16：00

場 所：フォレスト仙台 2F 第 2 フォレストホール

第一部：13：30～14：40

記念講演「地域包括ケアから地域共生社会へ」

講師 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授 堀田聡子さん

第二部：15：00～16：00

NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ総会



第 2 回実務担当者会議・拡大研修会のお知らせ

日 時：2017 年 7 月 13 日（木）13：30～17：00

場 所：フォレスト仙台 4F 4B 会議室

1. 2017 年度福祉サービスに関する苦情解決の第三者委員報告研修会 13：30～14：20

2. 拡大研修会 14：30～16：00

テーマ「苦情に対する対応の現状と課題」

～利用者により良き関係性を構築するために～

講師 弁護士 内藤千香子さん（当団体 苦情解決第三者委員）

3. 実務担当者会議 16：00～17：00

介護・福祉ネットみやぎの基本理念

私たちは、いつでも、だれでも安心して暮らせる社会をめざしています。私たちは知識と力を合わせ、良質な介護・福祉サービス提供と健全な事業運営のために、いっそうの研修にはげむとともに、情報を共有し、ネットワークをひろげます。もって子どもから大人まですべての人の人権が尊重されるまちづくりと、地域住民の福祉向上に資することを目的とします。

介護・福祉ネットみやぎ参加団体 宮城県生活協同組合連合会・みやぎ生活協同組合・生活協同組合あいコープみやぎ・松島医療生活協同組合・みやぎ県南医療生活協同組合・JA宮城中央会・公益財団法人宮城厚生協会・宮城県高齢者生活協同組合・社会福祉法人仙台ビーナス会・社会福祉法人こーぷ福祉会・社会福祉法人宮城厚生福祉会・特定非営利活動法人ゆうあんどあい・特定非営利活動法人WACまごころサービスみやぎ・特定非営利活動法人ひまわり・特定非営利活動法人ほっとあい・特定非営利活動法人グループゆう・宮城県民主医療機関連合会・宮城県労働者福祉協議会・宮城県民連事業協同組合・社会福祉法人みんなの輪・企業組合労協センター事業団東北事業本部

●2017年度介護・福祉ネットみやぎ年間計画

	総会	理事会	実務担当者会議	情報の公表・外部評価調査員研修	情報の公表調査事業推進委員会	情報の公表向上検討委員会	福祉サービス第三者評価調査者研修	福祉サービス第三者評価事業推進検討委員会	その他
2017年 4月								第1回 12日(水)	
5月		第5回 17日(水)	第1回 11日(木)						
6月	総会 9日(金)	第1回 9日(金)			第3回 2日(金)		第1回 22日(木)		第1回 30日(金) 外部評価 審査委員会
7月			第2回 13日(木)			第1回 下旬			13日(木) 苦情解決 第三者委員 報告研修会
8月				第1回 下旬 情報の公表					
9月			第3回 14日(木)	第1回 14日(木) 外部評価				第2回 20日(水)	
10月		第2回 10日(火)			第1回 25日(水)	第2回 18日(水)			
11月			第4回 9日(木)	第2回 16日(木) 合同					
12月		第3回 19日(火)							
2018年 1月							第2回	第3回 17日(水)	
2月			第5回 15日(木)			第3回 14日(水)			情報の公表 第三者評価 苦情解決 第三者委員 報告研修会 初旬予定
3月		第4回 20日(火)		第3回 15日(木) 合同	第2回 22日(木)				
4月									
5月		第5回 15日(火)			第3回 24日(木)				
6月	総会 13日(水)	第1回 13日(水)							

●2016 年度第 3 回「情報の公表」「外部評価」調査員合同研修開催報告

2017 年 3 月 16 日（木）10 時 30 分から 15 時 30 分まで、フォレスト仙台 4 階 4A 会議室において調査員 29 人の参加で開催しました。午前の部では、入間田範子さん（介護・福祉ネットみやぎ副理事長）と渡辺礼子さん（情報の公表実務向上検討委員長）が 2017 年度から全市町村で取り組む「介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）」の利用手続きの流れや訪問型・通所型サービス A 型の内容、実際に取組んでいる地域などについて説明しました。また、2016 年度の訪問調査を振り返り、調査員の質の向上を目指しました。

午後の部に、実務担当者や第三者評価調査者 11 人も参加し、弁護士の大嶽友和（おおたけ ともかず）さんから「権利擁護と虐待対応の課題について」と題して、権利擁護の意味、高齢者虐待の現状や高齢者虐待防止法の内容、虐待の事例を基にその対応の課題や克服などについてわかりやすくご教示いただきました。



講師の大嶽友和弁護士



研修会の様子

●宮城県委託事業「宮城県介護人材を育む取組宣言認証制度」運營業務報告

日本は急速な高齢化に伴い、介護へのニーズが急速に高まっています。しかし、介護の担い手不足は深刻であり、2025 年には、介護職は新たに 100 万人の増員が必要とされるといわれていますが、現在でも事業所は深刻な人手不足にあえいでいます。このような人手不足を解決し、将来の介護需要の高まりに備えるため、事業所の介護人材育成機能を高め、魅力ある業界となるような仕組みづくりが求められています。

平成 27 年 6 月に厚労省は、各都道府県での介護人材確保に取り組む認証・評価制度構築にあたっての基本的視点を示しました。これを受け宮城県では、介護事業者が介護人材確保のための取組状況を求職者から「見える化」することで、介護事業者の意識改革を促し、全体の取組の底上げを進めることを目的に、介護人材育成認証制度（みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度：略「認証制度」）を構築することとしました。

介護・福祉ネットみやぎでは、2016 年度からこの認証制度の実務的な運營業務を受託し、介護人材を育む取組宣言の制度設計と運營業務に着手しました。また、この制度への苦情・相談に社会性や客観性を確保し、適切な対応を推進するため、第三者委員の委嘱も行い、門田陽子さん（社会保険労務士）、佐藤由紀子さん（弁護士）、志水田鶴子さん（仙台白百合女子大学准教授）にご就任いただきました。

「介護サービス情報公表システム」に公表した介護人材育成について、一定の条件を満たしている事業所が申請し、宣言、認証を受けることができる制度です。対象となる介護サービス種別は、訪問介護、通所介護、認知症対応型共同生活介護等の 12 種類の介護サービスの事業所となります。

初年度である 2016 年度の認証制度の対象事業所は 2,217 事業所（2016 年 4 月 1 日基準日）で、「宣言」事業所が 161 事業所、うち「第 1 段階認証」事業所が 19 事業所となりました。

今後は県内の介護人材の定着のため、介護事業所の職場環境のレベルアップにつながるこの「認証制度」の浸透を図るよう、事務局として運營業務を担っていきます。

《認証制度のマーク》



▲宣言事業所「宣言証」



▲第 1 段階認証事業所「認証証」

●参加団体活動紹介報告

宮城県高齢者生活協同組合

「いろいろ庵こぶし開所に寄せて」

2017年4月1日、仙台市泉区高森地域に、小規模多機能型居宅介護事業所として、「いろいろ庵こぶし」が開所しました。40年前に入居が始まったこの地域の高齢化率は30%を越えているところもあり、高齢者世帯やお一人暮らしの方もいます。暮らし続けたいという希望があっても、なかなか実現が難しい状況です。そこで町内の皆さんが5年の年月をかけて準備した「結の会」という助け合い組織もできていました。そのような地域にできた介護保険で利用できる「いろいろ庵こぶし」です。

小規模多機能型居宅介護は、医療との連携や地域の皆さんとの連携とで、住み慣れた自宅で暮らし続けたいという希望を実現するための、ひとつの選択肢になります。訪問、通い、泊まりを必要に応じて組み合わせ、顔なじみの職員が援助しますので、安心できるというメリットもあります。現在、9名の職員が介護者として働いています。新入職員研修を1週間かけて行い、利用者様を迎えました。始まったばかりですが、利用者様との会話で笑いが渦巻いています。これからも、利用者様の笑顔を大切にしつつ、町内へのお便り配布や地域の皆さんが参加できる企画(野菜市など)を行い、気軽に立ち寄れて、「こぶしに行けば相談に乗ってもらえる。」「何とかなる。」と、信頼を得られるようにがんばっていききたいと思います。

(小規模多機能型居宅介護事業所 いろいろ庵こぶし 管理者 小岩眞理子)



お寿司屋さんを改修した
落ち着いたたたずまいです



開所式での職員紹介の様子です
沢山の方に参加していただきました

社会福祉法人宮城厚生福祉会

「法人20周年記念に寄せて」

社会福祉法人宮城厚生福祉会は、介護保険に対応すべく、1997年に設立されました。宮城県内に保育所が6ヶ所、介護施設5ヶ所、障がい施設2ヶ所、児童館1ヶ所を運営し職員も約450人となっています。法人内の多くの施設が宮城民医連の関係職員らによる地域訪問行動が実施され、地域や個人の皆様方からの多くの寄付金によって建設されています。地域に根差し、地域の皆様によって支えられている法人です。

設立記念日である3月26日(日)に、関連法人、関連団体、取引業者、当法人に縁のある皆様方にご出席いただき、メルパーク仙台にて、法人設立20周年式典を開催いたしました。

ご出席の皆様より、これまでの実績への高い評価と、これからの活躍を期待した温かいお言葉を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。

わたしたちの法人は、全日本民主医療機関連合会に加盟し、民医連綱領や日本国憲法に基づき「国民主権」と「平和主義」、「命の平等」にこだわり運営されています。医療、福祉、介護、保育を囲む情勢は厳しいものですが、さらなる奮闘を皆様にお誓いいたします。今後どうぞよろしく願い申し上げます。

(社会福祉法人宮城厚生福祉会 理事長 福岡眞哉)



法人設立20周年記念式典の様子